

卒業生の近況報告



アエコン・プラモテクル氏

Ms. Aek-orn Pramotekul

バンチャック石油精製会社

人材開発ディビジョン アシスタントマネージャー

Assistant Manager, Human Resource Development Division, The Bangkok Petroleum Public Company Limited

人事管理コース (2013年11月～12月参加)

今回メッセージを寄稿させていただきますことを、大変光栄にまた嬉しく思います。JCCPの人事管理コースに参加しましたが、研修ではさまざまな国の研修生と共に学ぶとともにいろいろな考え方を共有することにより、経験を増し、能力を広げることができ、私にとりまして最良のプログラムのひとつとなりました。

研修のプログラムは現在の職務に大いに役立っています。第一に学んだことは、「チームワーク」についてです。日本における人事管理の手法は、個人だけでなく、チームそしてグループの貢献が基盤となっています。このことを、見学先のすべての企業や現場で実感することができました。日本の国そして人々にとってこれが重要な成功の鍵となっていると思います。チームワークは最高の結果をもたらす力となるものであり、チームの成功はイコール仕事の成功です。この日本のベストプラクティスを私は自分の部署のチームにも活用しています。

ふたつ目に学んだベストプラクティスはOJT研修についてです。OJTは、入社3年から5年目の先輩社員が指導役を務めて行われる研修を中心としたものです。知識を教本で学ぶだけでなく、実際の仕事を通じて職務に必要なスキルや専門知識を身につけます。

さらにまた、日本の文化について学び、理解する機会にもなりました。高齢者には負担の少ない仕事を任せるなどの「労働文化」にとっても感銘を受けました。たとえば、若者や旅行者に歴史や日本について説明する観光案内の仕事です。高

齢者の方は、こうした仕事を通じて、自負心を持つことができます。こうした文化については、授業ではなく、休みの週末に美術館やその他名所を自分で訪れた際に学ぶことができました。

研修の最初には、日本語をはじめ、さまざまな施設や設備、そしてJRなどの交通機関の路線と利用方法など、日本の文化や生活について学ぶことができ、充実した日本滞在を楽しむことができました。

さらに重要なこととして、人事管理に携わる数多くの国の研修生とネットワークを広げることができ、このグループの間でケーススタディを共有し、仕事についてアドバイスし合うなどの関係作りができたことが挙げられます。与えれば与えるほど多くを得ることができます。研修生皆と友達になることができました。

私がこの研修で誓ったことは、自分が研修で得たことを帰国後皆と共有し、社内実践するということです。

JCCPの研修コースは、参加者だれもが、私と同じように、知識や経験そして友情を深めることができるプログラムであると思います。

最後になりましたが、JCCPの有益なプログラムに参加できたことを心から嬉しく思い、JCCPの卒業生であることを誇りに思っています。

ありがとうございます。



JCCP 研修参加後の報告会資料